

「おとなしく」みんなに合わせていくことを帰国生に強いる場合がしばしばあるが、千里国際学園では帰国生から学ぼうという姿勢が開校以来ある。そして、これらの帰国生が持ち帰る良さは日本の教育改革が目指している方向と合致している。

## <少人数教育>

自ら学ぶ姿勢をサポートするという点も含めて、きめ細かな指導をするために私達が取り入れてきたのが少人数教育だ。ホームルームも授業も二十数人までとなっている。教室がそのように小さく作られている。数名で行うクラスもあるので、授業の平均生徒数は18人といったところだ。こうなると生徒は受身ではいけない。教師は少人数の利点を生かした授業を展開するからだ。討論、論文、実験、観察を重視した授業によって基礎学力をしっかりとつけ、表現力を引き出すことも重視される。はっきり言って生徒の負担は少なくない。十分に絞られる。校則で押さえつけられることはあまりないが、学習では覚悟しておいてもらいたい。だから、授業の量も自分で調整できるようになっている。これも学期完結制の特徴だ。

インターナショナルスクールも含めて700人位の、この小さな学校は家庭的な雰囲気に溢れている。ここ数年間の編入生達が春からの新入生のオリエンテーションを手伝ってくれている。登校日でもないその日に歓迎会を企画した学年があった。そして、この春の新入生達が秋の編入生のオリエンテーションのアシスタントになる、といった調子だ。私達は新しい生徒を迎え入れることに慣れている。環境の変化に戸惑った経験を持つ者が多いからだ。

## <よくある質問>

Q:「どれくらいの授業がインターナショナルスクール(OIS)と一緒にできますか？」

学期によって違いがありますが、OIS English(週4時間)、IB History(週4時間)、音楽(週2.5時間)、美術(週4~5時間)、体育(週2.5時間)などがよく選択される授業です。Multi Media(週2時間)というYear Book作成や校内TV放送を担当するスタッフ指導の授業もあります。国語には一部の日本語の得意なインターの生徒が入ります。これらで半分以上の授業をインターナショナルスクールとともに過ごすこともできますが、

### 眞砂 和典(まさご かずのり)

千里国際学園 中部部・高等部 校長

東京で生まれ、大学を卒業するまでと同じ環境で育ちました。その後は、米国、コネチカットでの大学院生活を皮切りに、英国、ロンドン周辺の私立日本人学校勤務まで合計10年近くを海外で過ごすことになりました。教員以外の職業経験も踏まえて、ここ16年余りは大阪の千里国際学園で、多様な人々が集い、楽しく学び合うシステムづくりとその実践に努力してきました。この5月には新型インフルエンザで日本が大騒ぎの最中、教育フェアでデトロイトとシンシナティを訪れました。帰国後の入国では苦労しましたが、皆さんの熱心な眼差しの中で多くを学びました。



実際には英語を中心に週4から15時間くらいをOISと過ごし、後は自分の興味や将来に備えるための授業を日本語で受けている生徒が多いようです。逆に、OISに入学するということもあり得ると思います。

Q:「学校の説明はよくわかりました。では、先生はご自分のお子さんをここに入学させたいですか？」

えーっと、厳しい質問ですね。でも、大丈夫。実際に多くの教職員が子供を通わせています。前回この欄に登場した井藤教頭の2人のお子さんが千里国際を卒業し、もうひとりOISに在籍しています。

## <生徒が活躍できる学校>

「これまでの学校は固定観念の塊。」偉そうにこう言う私も驚かされたことがあった。SISに在籍している娘が中等部の時、夏前にはバレーボール部に入り、冬からは、サッカー部に顔を出していたのだ。おとなしくて、引っ込み思案で運動部とは縁がなさそうな娘が、である。授業関係では教育改革の先端を見つめているつもりであったが、課外活動にはそこまで目が向いていなかった。SISとOISが一緒に行うクラブがシーズン制であること、外国人コーチ達の心の広さのためか、全くの初心者でも気軽に受け入れてくれる雰囲気があるからなのだろう。そういえば、息子が生徒会長に立候補して仰天したこともあった。

この学校では、いろいろな所で多くの生徒が活躍している。そのような場がいたるところに設けられている。そこで自信をつけた生徒がまた新しいチャレンジを始める、という好循環がある。ホームページで「インターカルチャ」という校内紙を一度見て頂くとその一端が判ってもらえると思う。

この学校のユニークさ、深さは私には伝えきれない。次回の方にバトンタッチしよう。

千里国際学園は、海外で身につけたAuthenticな言語力を日本でももっと伸ばす環境と語学プログラムを用意しています。一時帰国の折にはぜひ学校の見学にお越しください。お待ちしております。

### 千里国際学園 中部部・高等部

〒652-0032 大阪府茨貫面市小野原西4-4-16

TEL: 072-727-5070 FAX: 072-727-5055

HP: www.senri.ed.jp E-mail: admissions@senri.ed.jp



千里国際学園の教育のユニークさが、はっきり紹介されています。

ただ単に1年間の学習内容を3等分した3学期制ではなく、学期ごとにひとまとまりの学習を完結。また、これまで以上に、校舎を共有する大阪インターナショナル(OIS)との授業や活動の合同化を進めています。国際バカロレアの導入やネイティブの英語の時間を増やすのに苦労している他の学校よりも、数歩先んじて、OISとSISの2つの学校の長所を共有できる真のユニークさの紹介です。感謝!